

外来工事におけるロックアウト再徹底のお願い

2023年12月13日
デンソー安全衛生協議会

標題の件につきまして、下記のとおり徹底いただけますようお願い致します。

【現状】

デンソー様構内の機械設備または装置等の新設、メンテナンス又は撤去に伴って感電、挟まれ、激突され、中毒、その他災害のリスクがあり、デンソー様の安全規定によりロックアウトを行うよう指定があるところで、ロックアウトがされないまま工事が行われている現状がある。

【再徹底事項】

① **デンソー構内作業マニュアルの規定どおり、ロックアウト指定のある設備についてはロックアウトを徹底する。**

※デンソー構内作業マニュアル 31ページ 6.機械等の内部に入る作業 (5) 参照

ロックアウト機能を備えた設備（大型設備）で内部に入る場合は、第3者が安全プラグの復帰ができないよう以下により錠前ロックを行なう。

ロックアウトの対象設備	大型設の内、重大な危険部を有し、複数の作業者が同時に設備内に立入る恐れのある設備で、デンソー様が指定している設備。
ロックアウトの方法	(1) ロックアウトの方法は設備によつて異なります。 ・安全プラグを抜く方法 ・開閉バルブを固定・カバーする方法 ・開閉器(ブレーカー)を固定する方法 ・操作盤などの扉開閉ハンドルを固定する方法等 (2) 各ロックアウトの実施は、錠前でロックする。尚、中に入る人全員それぞれが、錠前でロックし外すことができるのも本人のみとする。 (3) 錠前番号と氏名を記録する（作業指示書・始業前KYM記録表）
錠前と器具の準備	元請事業者又は協力会社は必要な個数を準備し、それぞれが持ち込む。

② **デンソー様構内ではロックアウトが必要な設備については『ロックアウト対象設備』と表示されているので、必ずロックアウトを実施する。**

(掛け札のみは不可+ロックアウト器具の設置が無い場合は準備してください)

③ **ロックアウトが必要な設備のロックアウトについては、下見時にデンソー様ご担当者との協議して、その方法や必要事項を確認しておくこと。**

④ **ロックアウト対象となっていない設備に対しても、リスクアセスメント等で重大な危険が予測できる設備においてはロックアウトを実施する。**

【ロックアウトの錠前と器具を準備】

① 個人別の錠前を準備する（南京錠には鍵番号と名札を付けて、使用時は作業指示書に明記する）

② ロックアウトする器具が現地に無い場合は、準備する

③ 多人数でロックアウトを行なう場合は多人数用補助金具を準備する

④ 安全プラグ等を保管する場合はグループロックアウトボックスを準備する



錠前 例



多人数用補助器具 例



グループロックアウトボックス 例



開閉バルブ 例

開閉器(ブレーカー)用 例

扉開閉ハンドル用 例

※ ロックアウト用器具はロックアウトを行なうバルブや開閉器等で各種の様式があります。下見時にロックアウトの必要個所を確認して準備してください。

※ ロックアウト用器具は安全衛生用品を取り扱っている販売店等から購入してください。

以上